

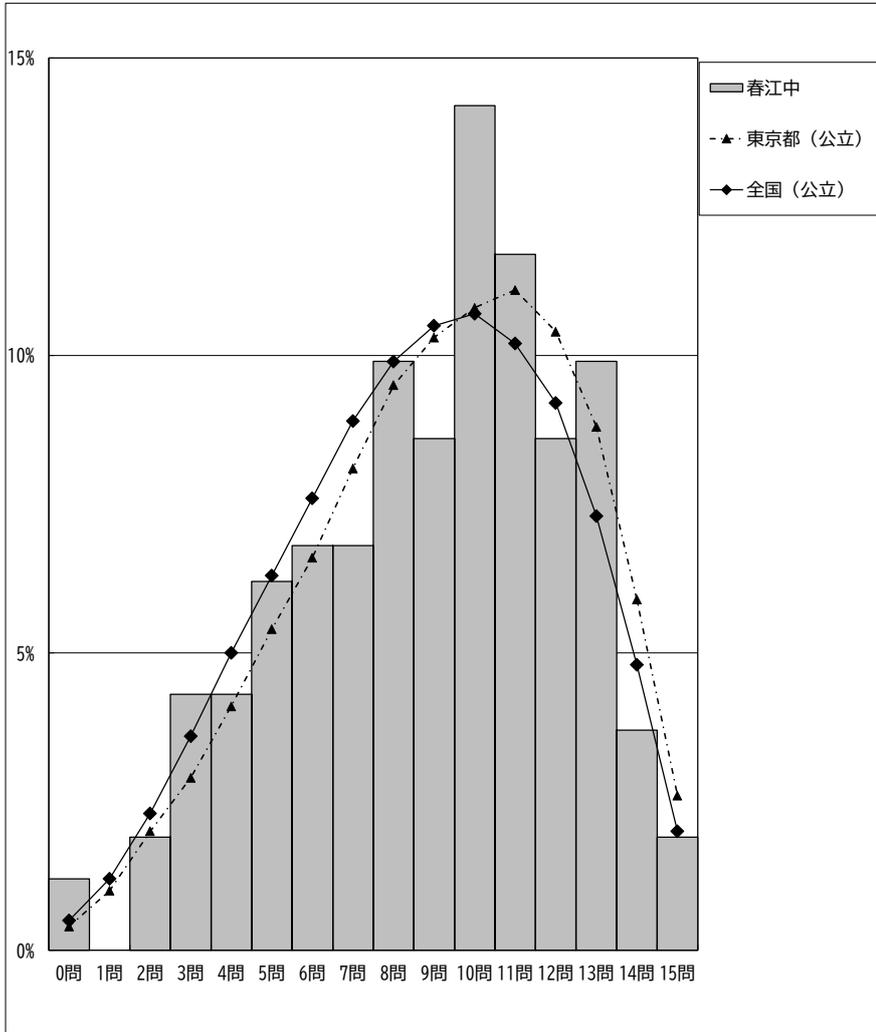
調査結果概況 [国語]

江戸川区立春江中学校

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。
 ※ただし、4月18日に調査を実施していない学校については、4月19日以降4月30日までに実施した調査の結果を集計した値とする。

	生徒数	平均 正答数	平均 正答率(%)	中央値	標準 偏差
春江中学校	162	8.9 /15	60	10.0	3.3
東京都(公立)	70,932	9.1 /15	61	9.0	3.4
全国(公立)	875,574	8.7 /15	58.1	9.0	3.4

正答数分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)



正答数	正答者数 集計値			
	生徒数	割合(%)		
	春江中	春江中	東京都(公立)	全国(公立)
15問	3	1.9	2.6	2.0
14問	6	3.7	5.9	4.8
13問	16	9.9	8.8	7.3
12問	14	8.6	10.4	9.2
11問	19	11.7	11.1	10.2
10問	23	14.2	10.8	10.7
9問	14	8.6	10.3	10.5
8問	16	9.9	9.5	9.9
7問	11	6.8	8.1	8.9
6問	11	6.8	6.6	7.6
5問	10	6.2	5.4	6.3
4問	7	4.3	4.1	5.0
3問	7	4.3	2.9	3.6
2問	3	1.9	2.0	2.3
1問	0	0.0	1.0	1.2
0問	2	1.2	0.4	0.5

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	春江中	東京都(公立)	全国(公立)
△ 第3四分位	11.0問	12.0問	11.0問
◇ 第2四分位	10.0問	9.0問	9.0問
▽ 第1四分位	7.0問	7.0問	6.0問

国語の調査結果を受けての考察と対策

全体として基本的な読解力や文法知識について概ね良好な成績を示している。しかし、文章全体の構造理解や作者の意図をくみ取る能力に関しては一部の生徒において改善の余地が見受けられる。特に長文読解において情報の整理や批判的な視点での読み書きに課題がある。

この結果を踏まえて、授業において読解力を向上させるための指導を充実させ、生徒一人ひとりが多様な文章に触れる機会を増やす。また、話し合い学習や発表の場を設けて文章の内容を他者と共有し理解を深めさせる。

タブレットを活用した学習形態や教材・教具の工夫で、苦手な生徒に対するサポートをする。

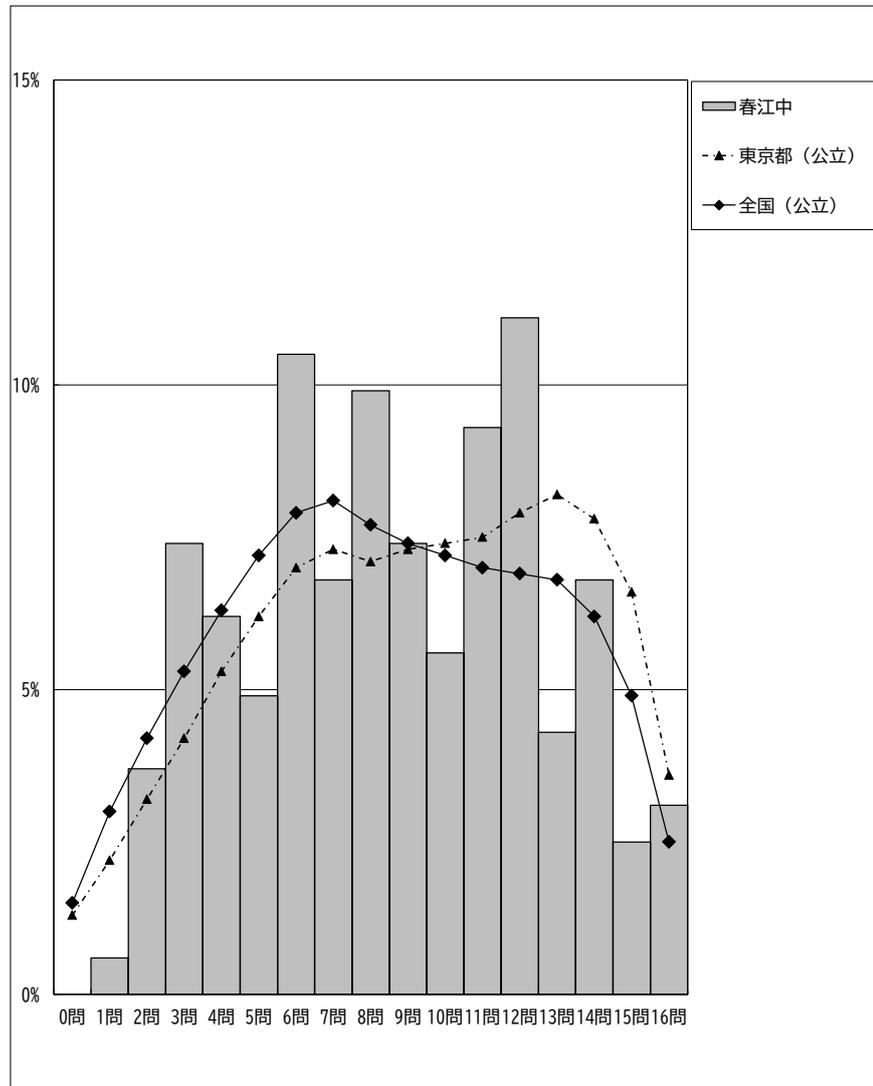
調査結果概況 [数学]

江戸川区立春江中学校

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。
 ※ただし、4月18日に調査を実施していない学校については、4月19日以降4月30日までに実施した調査の結果を集計した値とする。

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
春江中学校	162	8.6 /16	54	9.0	3.8
東京都(公立)	70,949	9.1 /16	57	9.0	4.2
全国(公立)	875,952	8.4 /16	52.5	8.0	4.1

正答数分布グラフ(横軸：正答数 縦軸：割合)



正答数	正答者数 集計値			
	生徒数	割合(%)		
	春江中	春江中	東京都(公立)	全国(公立)
16問	5	3.1	3.6	2.5
15問	4	2.5	6.6	4.9
14問	11	6.8	7.8	6.2
13問	7	4.3	8.2	6.8
△ 12問	18	11.1	7.9	6.9
11問	15	9.3	7.5	7.0
10問	9	5.6	7.4	7.2
◇ 9問	12	7.4	7.3	7.4
8問	16	9.9	7.1	7.7
7問	11	6.8	7.3	8.1
▽ 6問	17	10.5	7.0	7.9
5問	8	4.9	6.2	7.2
4問	10	6.2	5.3	6.3
3問	12	7.4	4.2	5.3
2問	6	3.7	3.2	4.2
1問	1	0.6	2.2	3.0
0問	0	0.0	1.3	1.5

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	春江中	東京都(公立)	全国(公立)
△ 第3四分位	12.0問	13.0問	12.0問
◇ 第2四分位	9.0問	9.0問	8.0問
▽ 第1四分位	6.0問	6.0問	5.0問

数学の調査結果を受けての考察と対策

全体として本校の生徒は基礎的な数学の知識を概ね理解しているものの、応用問題において一部の生徒は理解が不十分である傾向がみられる。特に、問題解決において論理的な思考を必要とする問題に対する取り組み方に課題がある。

この結果を踏まえ、本校では授業において応用問題に対する取り組み方を充実させる。また、生徒一人ひとりが自ら考え、話し合う時間を設定し、論理的思考力の向上を図る。単元テストを引き続き実施し、質問教室で個別にサポートをしていく。

家庭学習の定着に向けて自己管理手帳を活用する。